

自然観察の会 6 月例会 水辺の生き物観察会サポート・水質調査報告

日時:2023 年 7 月 16 日(日)9:30~12:00

参加:一般・探偵団 78 名 大船高校ボランティア 8 名、自然観察の会 8 名 計 94 名

沢山の生き物たちに出会えた観察会

毎年 7 月恒例の子供たちのための「水辺の生き物観察会をサポートを行いました。観察会の様子は緑の探偵団から報告が出ていますので参照ください。子供たちの生き物採集といっても多人数による採集の効果は高く、実は自然観察の会がホトケドジョウ調査時に行っている採集よりも、多種・多数の生き物が採集されました。最近では数が減っている貴重なオニヤンマヤゴも採集されました。採集生物リストは以下の通り。



貴重なオニヤンマヤゴ

田んぼ水路: ホトケドジョウ・ホンドジョウ・シュレーゲルアオガエルオタマ/成体・マメゲンゴロウ・灰色ゲンゴロウ・ミジンコ・オニヤンマヤゴ、シオカラヤゴ・ヤマサナエヤゴ、ミズアブ幼虫・カワニナ、サカマキガイ

御所川: ホトケドジョウ・ヌマエビ・ザリガニ・アメンボ・シマアメンボ・ヤブヤンマヤゴ・オニヤンマヤゴ

COD は悪化 水質調査

当日は、定例の水質調査も行いました。

COD(化学的酸素消費量)は全部の観察点で前回 6 月の調査より 2~3ppm 悪化していました。7/6 から 10 日以上降雨が無く、熱暑も続いたため水路の流量が減って水が淀み有機物が増加したためと思われるが悪化限度とされる 10ppm は超えていません。

トンボ池の pH が低くなっていました。pH 上昇原因になっていたアオミドロがトンボ池堰板の不具合で水位が低下して流出したことが原因と思われます。

水質調査記録								
調査地点	調査日	2023/7/16 天候:晴れ				調査:樋口・大貫・望月・石		
調査地点	水温(°C)		水位(cm)		pH		COD	
	7/16	前回 6/18	7/16	前回 6/18	7/16	前回 6/18	7/16	前回 6/18
①浄化池	22.1	18.4	12	8	7.33	7.58	6	4
②田んぼ	28.3	19.4	12	7	7.16	7.72	7	5
③畑下	29.7	21.1	7	20	7.18	7.36	7	5
④小竹ヶ谷下流	25.3	20.1	4	5	7.65	7.14	8	4
⑤奥竹ヶ谷(新小池)	24.2	20.6	5	8	7.61	7.24	8	5
⑥大竹ヶ谷入口	25.2	19.3	2	12	7.27	7.12	7	4
⑦大竹ヶ谷奥	23.2	18.5	4	3	7.32	7.06	7	6
⑧きはちの窪	26.1	22.1	6.5	8	7.45	7.15	8	5
⑨トンボ池	29.5	23.1	14	25	7.46	8.30	7	4
平均	26.0	20.3	7.4	10.7	7.38	7.41	7.2	4.7